

須波小版 道徳料「主題・教材解釈シート」

本日の内容項目《 C よりよい学校生活, 集団生活の充実 》 【A・B・◎・D】(○で囲む)

A：主として自分自身に関すること

B：主として人との関わりに関すること

C：主として集団や社会との関わりに関すること

D：主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

本日の主題名《 集団の一員として 》

【1】主題解釈：この主題を学ぶ意義を捉えよう。

(1) まず「内容項目」について、自分自身の捉えを書き出してみましょう。

		自分なりに考えて(自己理解)	他の先生方と話して(他者理解)
価値理解	①この内容項目の大切さ ※それはなぜ大切なのでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域, 家族など様々な集団や社会に属し, 自分たちの集団という意識が高まるから。 自分の役割や責任を果たした時, 集団のためになったと達成感があるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは, 今もこれからも何かしらの集団に属しており, その中で充実した生活を送ることが大切だから。 よりよい学校生活を目指すことで, 学校生活が明るく楽しいものになるから。
人間理解(誰にでもある弱さ)	②この内容項目の難しさ ※いつでもできますか。誰に対してもできますか。	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中で活動する際に, 人任せにしてしまう。 自らの役割の意義を見出せない。 自分のやりたいことを優先してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中では, 自分がしなくても誰かがやってくれると思ってしまう。 自分と気が合わない人と協力してよりよい集団や学校生活を築こうと思わない。
人間理解(弱さを越えてよりよく生きようとする強さ) 深まった価値理解(新たな気づき)	③それでもなおの大切さ ※難しさを越えて大切にしたいのはなぜでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割と責任を自覚することで, 集団への所属感をもち, 集団の中で役立つ喜びを感じ, 充実した集団生活を送ることができるから。 所属する集団がよりよく向上していくから。 	<ul style="list-style-type: none"> 他人任せにしたり気が合わない人と協力することに難しさを感じたりすることもあるが, 自分自身が集団の中で何をどのようにしたらよいかと考え実行することで, いきいきと生活できるから。

(2) 学習指導要領を見てみましょう。

④ 学習指導要領の該当ページに書かれている「大切さ」や「難しさ」, 「指導の要点」など。

学校における学級集団, 児童会やクラブなどの異年齢集団だけでなく, 地域社会においても, 遊び仲間や各種少年団体などの身近な集団において, 自分の立場やその集団の向上に資する自分の役割, 個人の力を合わせ取り組んでこそ達成できることなどを自覚して, 様々な活動に積極的に参加できるようにしていくことが重要。

様々な集団での活動を通して, 集団を支えているのは自分たち自身であるということに気付かせると同時に, 集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする態度を育てることが大切。

(3) 「本日の主題」に焦点化して考えてみましょう。

⑤ 本日の主題はなぜ, 児童生徒にとって大切なのだと思いますか。

次年度は最高学年として, 学校のリーダーとしての立場から, 様々な場面で学級全体のために任された役割を責任をもって行う大切さについて考えることができるから。

学級活動の中で, 当番や係など, どの役割も大切で, やらなくてもいいという意識ではなく, 集団を支えている一人であると意識してほしいから。

⑥ ⑤に照らして, 本学級の児童生徒は, どのような実態にありますか。(できているところ, まだのところ)

5年生になり児童会や委員会活動などで, リーダーとして活動することが多くなり, 自分の立場や役割を意識している。全校に関わる委員会などの仕事に対しては優先的に取り組むが, 学級の仕事では, 誰かがやってくれると人任せになったり, 言われてから行動したり後回しにすることもある。

どんな指導の方法で授業するか、考えましょう。まず「教材」を見てみましょう。

【2】：教材のどこを用いて授業を作るのか、考えよう。

本日の教材名《 森の絵 》 ⑩・中 第《 5 》学年 出版社・教科書名《日本文教出版》

⑦登場人物の役割を捉えよう（主題に照らして）

※主人公はどんなことに悩んでいますか。また他の人物は主人公にとってどのような位置にいますか。

- 【主人公】・学級で、「森は生きている」の劇をやることになった。・女王役を望んだがめぐみに譲った。
 ・えり子は得意な道具係になった。・女王役になれなかったえり子は仕事がなげやりになってしまう。
 【文男】・文男は得意でない刺繍をする係になった。・クラスの劇づくりのために、一生懸命刺繍に取り組む。
 ・黙々と自分に任された役割をこなしている。
 【めぐみ】・えり子にゆずってもらい女王役になった。・練習を重ね、どんどんうまくなっている
 ・修の録音の手伝いもする。

⑧主人公の悩み・葛藤・迷いなどの「難しさ」の部分はどこでしょうか。また、「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったりする部分はどこでしょうか。

- 【えり子】・本当は女王役をやりたかったが、めぐみに役を譲り、道具係になったことで気分が乗らない。
 ↓
 【文男】 ・「でも、だれかがやらないと劇にならないじゃないか。」という文男の言葉。
 ・得意ではないししゅうを一生懸命やっている姿。
 【めぐみ】・録音を手伝っている。めぐみもがんばっている姿。
 ↓
 【えり子】・クラスの劇を成功させようという意欲に変わった。

【3】授業のねらいとゴールの姿、それを導く発問と板書を考えよう。

⑨ねらい：「〇〇する活動を通して、〜〜しようとする道徳的な判断力（道徳的心情、実践意欲と態度）を高める」	ねらい：「なりたい役になれずやる気が出なかったが、どの係も劇を支える大切な仕事であることに気づき、がんばろうとするえり子の気持ちの変容を考えることを通して、役割を自覚し、責任を果たす大切さに気付かせ、自分の役割を自覚して主体的に責任を果たそうとする態度を養う。」
⑩ゴールの姿：⑨のねらいが達成されたとして、授業の最後には、例えばどのような言葉が児童生徒から出てくるとよいでしょう。複数考えてみましょう。	「仕事に責任をもって、みんなのために役割を果たす。」 「どんな仕事でも大切な仕事なんだ。」 「いろいろな役割があって、集団はできているんだ。」 「自分の役割を納得して努力すること。」 「みんなで同じ目標に向かってがんばっていくこと。」
⑪そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「悩みや葛藤など」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。	「えり子は、最初、どのような気持ちで取り組みましたか。」 発言後、「そういう気持ち、分かるねえ」と共感を入れると、子どもは安心する。
⑫そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったり」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。	「森の絵に色をつけるえり子の気持ちが大きく変わったのは、えり子がどんなことに気付いたからでしょう。」 発言後、「なるほど、そういう考え方が大切なんだね」と共感すると、子どもは今後の生き方にしっかり見通しを持つ。

※上記をもとに、思考を促す発問計画、板書計画を作成していきましょう！